

江戸川区教育委員会 殿

学校名 江戸川区立小岩小学校

校長名 小松 広宣

令和6年度 教育課程について (届)

このことについて、江戸川区立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 教育方針 (魅力ある学校づくり)

(1) 学校の教育目標

- 教育基本法及び学校教育法の精神のもと、学習指導要領に基づき、知育・徳育・体育の充実を図り、「生きる力」を兼ね備えた児童を育成する。
- 東京都教育委員会及び江戸川区教育委員会の教育目標を踏まえ、人権尊重の精神を基調に、我が国と郷土への愛情や公共の精神をもった人間性豊かな児童を育成する。
- 上記を踏まえ、次の学校教育目標を設定する。

生きる力を養う

- 2 考える子 (確かな学力) ②思いやりのある子 (豊かな心) ③元気な子 (健やかな体)

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 全教育活動を通じて人権教育や道徳教育、SDGs (LGBTQ 含む)、学校2020 レガシー、区子どもの権利条例等を学ぶ学習を推進し、「生きる力 (特に自他尊重と共生の姿勢)」を養う。
- 新たに知った、問題解決できたなどの経験を積み重ねて「確かな学力」を養う。
特に、「確かな学力コアプラン」「区 誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」に基づく ESD (持続可能な開発のための教育) やカリキュラム・マネジメントを推進し、統一した指導や発達段階に応じた指導・個に応じた指導を行う。
- 自ら判断して行動した、共にやり遂げたなどの経験を積み重ねて「豊かな心」を養う。
特に、「豊かな心コアプラン」に基づくあいさつの定着や基本的な生活習慣の確立、社会貢献の姿勢、自己肯定感の向上等について統一した指導や発達段階・個々の特性等に応じた指導を行う。
- 体を鍛えた、健康について考えたなどの経験を積み重ねて「健やかな体」を養う。
特に、「健やかな体コアプラン」に基づく体力や運動能力の向上、歯科健康教育、食に関する指導・心身の健康の保持増進について統一した指導や発達段階等に応じた指導を行う。
- 巡回指導・弱視通級指導学級・日本語通級指導学級において「自他尊重と共生の姿勢」などの「生きる力」を養う。
特に、「特別支援教育コアプラン」に基づき、特別支援教室・弱視通級指導学級・通常学級において統一した指導や障害及び発達特性に応じた指導、自他を尊重する教育を行う。また、共生学習や交流及び共同学習を行う。更に、「日本語指導コアプラン」に基づき、日本語能力に応じた指導や自他を尊重する教育、豊かな国際感覚を養う教育を行う。
- コミュニティ・スクールモデル校として学校運営協議会 (地域・PTA 等) と連携し教育を推進する。
特に学校と地域の連携や伝統を生かした教育活動の一層の充実を図る。また学校運営協議会委員・保護者・教職員が連動した学校評価により教育課程の改善・充実を図る。

第2表

2 指導の重点

- (1) 教育目標「確かな学力」を育成するために、「確かな学力コアプラン」「区 誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」を推進し、各教科等の指導の充実を図る。
- 各教科等の特質を生かした指導とともに、教科等横断的な視点に立った指導を推進する。特に、思考力・表現力・判断力等を養うために、「問題解決的な学習の指導（小岩小授業モデル）」を構築・推進し、統一的指導・段階的指導・個に応じた指導の充実を図る。
 - 知識及び技能の定着のために、基礎基本の学習・個に応じた指導や学習規律の徹底を図る。
 - 学びに向かう力等を養うために、思考力・判断力・表現力等を養う取組や知識及び技能の定着を図る取組を積み重ねる。
 - 学力調査等を活用し、適正に評価するとともに評価の改善を図る。
 - 家庭と連携し、家庭学習の充実や生活習慣の確立を図る。
- (2) 教育目標「豊かな心」を育成するために、「豊かな心コアプラン」を推進し、健全育成の指導の充実を図る。
- 人権を尊重する姿勢、よりよく生きる基盤となる道徳性、SDG s や学校 2020 レガシー・区子どもの権利条例を学ぶ学習に基づく自他や社会・自然環境を尊重する心、LGBTQ や自国・他国の文化など多様性を尊重する心等を養うために、全教育活動を通じた統一的指導・段階的指導や家庭や地域と連携した取り組みの充実を図る。
 - 自らあいさつする姿勢や思いやりの心の育成、基本的生活習慣の定着のために、「小岩小生活スタンダード」を構築・推進し、生活指導の充実を図る。
 - いじめの未然防止・早期発見や、不登校を0にするために、「hyper-QU」等を活用・共有して指導の充実を図る。また、個別対応会議の随時開催やスクールカウンセラーの効果的な活用を含め、学校組織として対応する。（やむを得ず登校できない子への対応含む）
 - 安全に対する望ましい態度・判断力等を育てるために、災害等に対する避難訓練、不審者や携帯電話等についての安全指導やセーフティ教室・薬物乱用防止教室等を計画的に実施する。
- (3) 教育目標「健やかな体」を育成するために、「健やかな体コアプラン」を推進し、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する指導の充実を図る。
- 体力・運動能力の向上を図るために、小岩ムーブに基づく運動（準備運動・整理運動・運動遊び）、なわ跳びや竹馬を活用した活動に取り組みさせる。また体力テストを活用し、指導改善を図る。
 - 自分の健康や食に関心をもたせ、自ら考え判断し行動する力を養うために、食に関する指導・保健指導の充実を図る。特に歯科保健教育「歯ッピープロジェクト」を学校・家庭・関係機関で連携して推進する。

- (4) 教育目標「生きる力」を育成するために、「特別支援教育コアプラン」を推進し、障害・発達特性による学習上・生活上の困難を自ら改善していく力や姿勢を養う指導の充実を図る。また全ての児童に「自己尊重と共生の姿勢」を養う指導の充実を図る。
- 特別支援教室において障害による学習上・生活上の困難を改善するために、健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーションに関する自立活動の指導の充実を図る。また障害・発達特性による学習上・生活上の困難改善に対し、児童自ら思考・判断・表現できるようにするために個別最適な問題解決的な学習「小岩小授業モデル」を取り入れる。
 - 弱視通級指導学級において障害による学習上・生活上の困難を改善・克服するために、特に視覚認知等・目と手の協応・視覚機器操作技能（ICT含む）・自己障害理解・感覚統合・コミュニケーションに関する自立活動の指導の充実を図る。また障害・発達特性による学習上・生活上の困難改善に対し、児童自ら思考・判断・表現できるようにするために個別最適な問題解決的な学習「小岩小授業モデル」を取り入れる。
 - 特別支援を要する児童への理解を深め、共生の姿勢を養うために、本校の巡回指導教員・弱視通級指導学級教員が通常学級で共生学習（共生社会を生きるため問題解決的な学習（小岩小授業モデル）の指導を行う。また、特別支援学校との副籍交流（交流や共同学習等）を行う。
- (5) 教育目標「生きる力」を育成するために、「日本語指導コアプラン」を推進し、日本語習得が不十分なことによる学習上・生活上の困難を改善していく力や姿勢を養う指導・支援の充実を図る。また全ての児童に「自己尊重と共生の姿勢、豊かな国際感覚」を養う指導の充実を図る。
- 日本語通級指導学級において「読む・書く・聞く・話す」の基本的な言語能力を育てるとともに、教科学習の基礎基本の定着や具体的な場面で日本語表現ができるようにする指導・支援の充実を図る。また日本語習得が不十分なことによる学習上・生活上の困難改善に対し、児童自ら思考・判断・表現できるようにするために個別最適な問題解決的な学習「小岩小授業モデル」を取り入れる。
 - 日本語通級指導学級において「自国文化や日本を含めた他国文化の理解（豊かな国際感覚）」を深め、「自己肯定感」を高める指導を行う。また「共生の姿勢」を養うために日本語学級通級内の児童間の交流や発表活動を取り入れる。
- (6) 教育目標「生きる力」を育成するために、学校運営協議会（地域・PTA）と連携し教育を推進する。
- 学校や地域を愛する心情や社会の成員としての自覚を深めるために、同窓会や地域・PTAの諸行事に参画させる。また子どもの権利条例に基づき学校運営協議会で意見を述べる機会を設ける。
 - 音楽に親しむ心や豊かな情操、地域に参画する姿勢等を養うために、4～6学年児童有志によるブラスバンド「ブルーラビットバンド」の活動を推進する。
 - 家族の一員としての自覚や地域への参画意識を高めたり、健全育成を推進したりするために、家庭（PTA）や地域、近隣校と連携して、あいさつ運動や学校行事・地域行事等に取り組む。また、道徳授業地区公開講座や学校評価を教育活動の協働のために活用する。

3 学年別授業日数及び授業時数等の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	17	21	21	13	0	19	22	20	18	17	19	15	202
2	17	21	21	13	0	19	22	20	18	17	19	15	202
3	17	21	21	13	0	19	22	20	18	17	19	15	202
4	17	21	21	13	0	19	22	20	18	17	19	15	202
5	17	21	21	13	0	19	22	20	18	17	19	16	203
6	17	21	21	13	0	19	22	20	18	17	19	15	202
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・第1～第4学年は、卒業式に参加しないため1日減となる。 ・第6学年は修了式に参加しないため1日減となる。 ・7月3日（水）開校記念日のため1日減となる。 ・土曜授業のため、4月・6月・10月・2月は1日増となる。 												

(2) 各教科等の年間授業時数等配当表

領域		学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
		時数	計画時数	計画時数	計画時数	計画時数	計画時数	計画時数
各教科	国語		306	315	245	245	175	175
	社会				70	90	100	105
	算数		136	175	175	175	175	175
	理科				90	105	105	105
	生活		102	105				
	音楽		68	70	60	60	50	50
	図画工作		68	70	60	60	50	50
	家庭						60	55
	体育		102	105	105	105	90	90
	外国語						70	70
特別の教科 道徳			34	35	35	35	35	35
外国語活動					35	35		
総合的な学習の時間					35	35	35	35
読書科	朝読書等		23	23	23	23	23	23
	1単位時間で行う授業		12	12	12	12	12	12
特別活動	学級活動		34	35	35	35	35	35
教科等合計			885	945	980	1015	1015	1015
朝読書等を除く授業時数			862	922	957	992	992	992
特別活動	児童会活動		2	2	2	2	12	12
	クラブ活動				1	8	8	8
	学校行事		23	21	23	26	37	42
特別活動計(学級活動除)			25	23	26	36	57	62
総時数			887	945	983	1028	1049	1054
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間は45分とする。 ・総時数は、1086時間を上限とする。 							